

こまぼんのなるほど！ みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

第28回 海の環境を守る取組紹介

海洋環境整備事業とは

東京湾、大阪湾を初めとする閉鎖性の高い海域では、海の汚れが進んでいます。このため国土交通省では、きれいな海を守るため、海面に浮遊するゴミや油を回収するとともに、定期的に水質の調査を実施しています。

小松島港湾・空港整備事務所の役割

小松島港湾・空港整備事務所では、海面清掃兼油回収船「みずき」により、紀伊水道西部の700km²、播磨灘南部700km²の計1400km²を担務海域として海洋汚染防除を行っています。



海面清掃兼油回収船 「みずき」諸元	
船長	29.5m
船幅	11.6m
トン数	154GT
吃水	2.1m
船速	14ノット

「みずき」担務海域図



浮遊ゴミの回収

「みずき」は双胴船と呼ばれる真ん中が空いた形の構造をしており、回収時はここからゴミを取り入れ、船体に積まれたコンテナにより回収します。コンテナは35m³積み1個、15m³積み1個で、一度に合計50m³（10トラックで7.5台分）の浮遊ゴミを回収することができます。



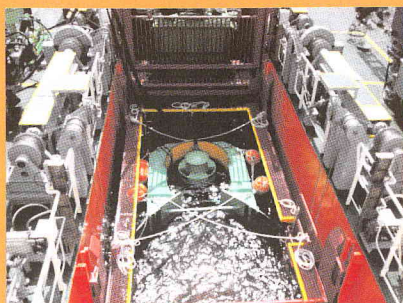
浮遊ゴミ



浮遊ゴミ回収状況

浮遊油の回収

万が一、油流出事故が発生した場合に備え、「みずき」は非常時搭載型の油回収機を所有しています。回収機は一時間あたりに50m³の油水を処理できる能力を持っています。



油回収機設置状況

総合水質調査

「みずき」では、春期、夏期、秋期、冬期の年4回水質調査及び底質調査（秋期のみ）を実施しています。調査地点数は、担務海域内22箇所で行っています。（内、採水は10箇所、底質は5箇所）



水質測定器及び採水サンプラー